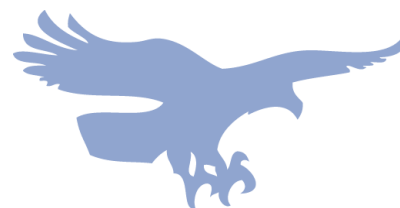


－第2回 PEACE BALL CUP 大会要項－

主 催 小坂井 Football Club
協 賛 小坂井 FC スポンサー一同



目 的 ピースボールカップを通じてリスペクトの精神を養い、交流と親睦を深めながら、世界ではボールを買えない子供たちがいるという現実に対して私たちが出来ることを啓蒙することを目的とする。

日 時 2019年7月21日(日)
場 所 豊川市赤塚山公園市民のスクエア
対 象 U-11

競技規則 日本サッカー協会「8人制サッカー競技規則」に準ずる。
試合球 各チーム持参による、少年用4号球を使用する。
競技者数 1チーム8人の競技者によって行われる。ただし登録数の上限は設けない。
チームの競技者のうち1人はゴールキーパーとする。
本大会においては、8人に満たない場合は試合を開始しない。
交 代 交代は自由な交代を採用する。

ベンチ ベンチに入ることができる人数は、交代要員と引率指導者4名以内とする。
その都度ただ1人の引率指導者のみが戦略的指示を伝えることができる。

服 装 対戦チームは、お互いに、また主審や副審と区別できる色の服装を着用しなければならない。
それぞれのゴールキーパーは、他の競技者、主審と区別できる色の服装を着用しなければならない。

注1: ゴールキーパーの負傷退場等により、緊急避難的にフィールドプレーヤーがゴールキーパーに代わる場合については、その競技者の番号等の表示を義務付けるものではない。

競技時間 試合時間は前、後半とも 15 分間とし、ハーフタイムのインターバル（前半終了の笛から後半開始まで）は 5 分以内とする。
規定の試合時間内に勝敗が決しない場合、ペナルティーマークからのキックにより勝者となるチームを決定する。

注 2：試合が終了し、ペナルティーマークからのキックを行う前に、一方のチームの競技者が相手チームより多い場合、競技者の多いチームは相手競技者数と等しくなるように競技者数を減らさなければならない。チームの主将は、除外するそれぞれの競技者の背番号を主審に通知しなければならない。これによって、除外された競技者はペナルティーマークからのキックに参加することはできない。

警告退場 競技者が退場を命じられた場合は、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充することができる。主審は競技者が補充されようとしている間は、試合を停止する。
本大会において退場を命じられた競技者は、本大会の次の 1 試合に出場できない。
また、本大会の異なる試合において警告を 2 回受けた競技者は、本大会の次の 1 試合に出場できない。

表彰 優勝チームには盾を授与する。
その他 本大会の実施に関して、本大会要項に定めのない事項については、大会本部が最終的に決定するものとする。

審判 1 人の審判とする。
※審判の割振りは別紙組み合わせ表を参照のこと。

参加費 3,000 円／チーム
※大会参加の一部はチャリティーとしてお預かりいたします。

組合せ 別紙組み合わせ表を参照のこと。
その他 ①スポーツ傷害保険は各チームで必ず加入して下さい。
②応急手当は大会事務局で対応可能ですが、それ以上の責任は負いません。
③会場の駐車場に限りがありますので、可能な限り乗り合わせにてご来場してください。また路駐は厳禁でお願いいたします。

④ゴミは各チームで必ず持ち帰ってください。



【PEACE BALL PROJECT】

小坂井 FC では、「サッカーを通して国境を越えた人と人とのつながりを築き、交流の架け橋になれば」との思いから、ご家庭で不要になったボールを集め、世界各地の子供たちへ届ける「ピースボールプロジェクト」に参加しています。

不要になったボールがありましたら、大会時にご提供頂けますようお願いいたします！

